



日野自動車純正

日野ディーゼルクリーナー

コモンレール式燃料噴射システムのメリット

- ・ 厳しい排気ガス規制への対応
 - ・ 燃費向上
- の両立を達成！



600ml

350ml

S2367-E0020

S0809-E2028

コモンレール式燃料噴射システムのデメリット

- ・ 高圧・高温により、燃料中の不純物や添加成分からデポジット(変性物)が発生。



インジェクターに付着したデポジットは、正常な燃料噴射を妨げ、各種トラブルの原因となります

車両の性能維持やトラブル防止に定期洗浄が有効です！

日野ディーゼルクリーナーだけの特徴

① 車両・機器システム・各種添加材製造メーカーの3社で共同開発

→ 車両・機器へのダメージ防止を念頭に、洗浄能力を追求！（国内特許取得）

② 日本国内の燃料成分に最適化

→ 日本仕様の燃料より発生したデポジットに、最適な効果を発揮！

燃料の仕様は各国で異なり、発生するデポジットも固有の為、他の国で効果があつた製品が、日本のデポジットに効果が有るとは限りません。

詳細は、裏面をご覧ください。

■使用方法例（詳細は製品裏ラベル参照）

- ①エンジンを停止。
- ②燃料タンクへ注入して下さい。
- ③試運転20～30分を行って下さい。

■対象エンジン

（コモンレールシステム搭載）

- ・ E13C、A09CVA（多段ターボ）
- ・ A05C、J系、N04C

■インジェクター洗浄の効果

注）デポジットに拠る燃料噴射系不具合が対象

- ①燃料噴射系の作動不良による
 - ・ エンジントラブルの防止。
 - ・ DPR自動再生インターバルの異常を改善。
 - ・ エンジンの出力不足、燃費悪化等の改善。

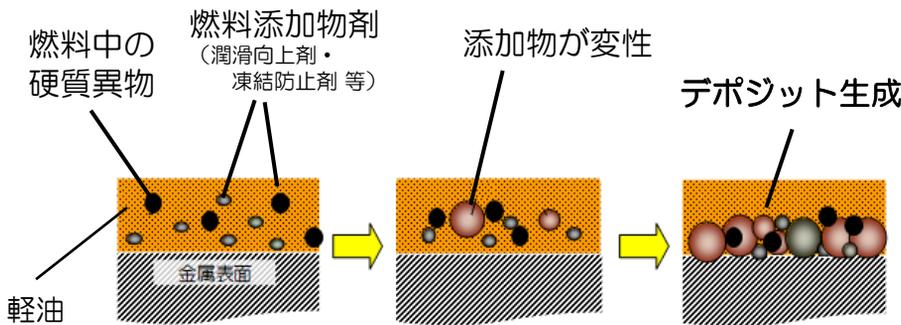
- ②定期的に使用する事で、デポジットによる
 - ・ 部品へのダメージを軽減。
 - ・ 部品交換費用の低減。

例）インジェクター交換の場合、1回で数十万円と多額の費用が掛かります。

- ・ 予防整備上、「**半年～1年毎、または、5万km毎**」の使用を推奨。



■デポジットの発生メカニズム



・ 燃料を高圧化するコモンレール式燃料噴射システムでは、高圧・高温に晒された燃料中の添加物に変性し、**デポジットを生成**します。

・ デポジットは、燃料系の内部部品に堆積する為、燃料噴射システムが正常に作動出来なくなり、不具合や故障の原因につながります。

注意事項）

- ・ **規定濃度（1.5%）を超えた使用**は、エンジントラブルの原因になる恐れがございます。
- ・ 燃料システムに、損傷を与える恐れがある、**金属添加物は含まれておりません**。
- ・ 使用後、**症状が改善されない場合は、デポジット以外の他要因に拠る症状**と恐れられますのでお近くの日野自動車販売会社まで、ご相談ください。
- ・ 外気温が**-20℃以下では、凍結**の恐れがありますので、ご使用はお控えください。
- ・ 危険物第4類第3石油類 危険等級 消防法の適用商品です。



最寄の日野自動車販売会社へお問い合わせください。